

はにい 手作りのアルバム

平成28年4月5日

2年生の生活科。

自分の成長を振り返り、家族や保育園の先生など、お世話になった人に伝えるために、どうやってまとめるか、話し合っています。



「アルバムをつくりたい！」
「どうしてアルバムがいいの？」と先生。
「アルバムだと写真も貼れるし、絵や字も書けるでしょ」
「わかりやすいよね」と友だちの声。
「なにを伝えたいの？」先生が聞きます。
「竹馬が長い時間乗れるようになったこと」
「いいね」

「アルバムのおもてにね、竹馬がまだあまり乗れなかったときのことを書いて、うらのページに乗れるようになったことを書くの」

「あ、めくるとできるようになったことがわかる！」

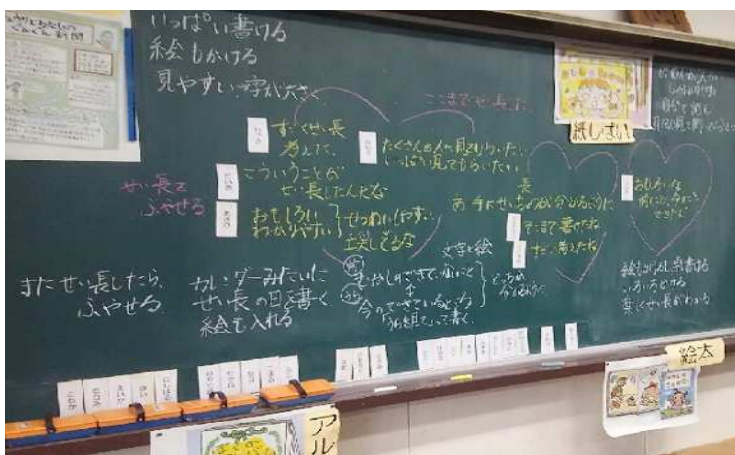
「それなら、『うらも見て』って書いた方がいいかも」

みんなのアイデアが先生のやさしい字で板書されていきます。

「あとね、次のページには、『竹馬』がもっとできるようになったことを書くか、他の勉強とかが『長い時間』できるようになったことを書くか、考え中」

「あ、両方書けばいいよ、ページを足して」

「そうか、アルバムはページが増やせるからね！」



最後に、先生が聞きました。

「今日はみんなで話してどうでしたか？」

「『ただのアルバム』をつくろうと思っていたけど『工夫したアルバム』にしたいくなりました」

伝えたいという思いが、教室の中で形になってきたようです。

『はにい』はコミュニケーションツールです。 みんなで語り合いましょう。
ご意見・ご感想は inochi4027@pref.kanagawa.jp